

令和5年度 第1回知立市図書館協議会 議事録

1. 日時・場所

令和5年7月12日（水） 午後2時～3時

知立市図書館2階 視聴覚室

2. 出席者

委員：近藤博子、鈴木加代子、加古美江子、橘玲子、加藤叔美、豊田一代、佐藤洋介

（欠席：佐久間裕美）

事務局：宇野教育長、河合文化課長、近藤課長補佐、渡辺主査、金子主事

（欠席：寺田教育部長）

3. 協議事項

（1）令和4年度事業実績報告について

（2）令和5年度事業計画について

報告事項について

- ・電子図書館導入とその後の状況について
- ・第3次知立市子ども読書活動推進計画中間年の調査について
- ・昨年度協議会での指摘事項について
 - ①無料塾の開催について
 - ②職場体験の生徒からの聞き取り
 - ③子育て支援センターへの保護者向け書籍の提供

4. 概要及び経過

（午後2時開会）

進行：河合文化課長

（1）教育長あいさつ

（2）自己紹介

（3）会長・副会長の選任

橘委員より推薦、鈴木委員より立候補

会長：近藤委員 副会長：鈴木委員

（4）会長・副会長あいさつ

協議事項の概要は次のとおり

協議事項（1）令和4年度事業実績報告について

近藤会長 協議事項（1）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 令和4年度事業実績報告について、資料に沿って説明。

近藤会長 令和4年度事業実績報告について、ご意見・ご質問はありますか。ないようですので、ご承認いただける方は拍手をお願いします。

（全員承認）

近藤会長 協議事項（1）についてご承認いただきました。ありがとうございます。

協議事項（2）令和5年度事業計画について

近藤会長 協議事項（2）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 令和5年度事業計画について、資料に沿って説明。

近藤会長 令和5年度事業計画について、ご意見・ご質問はありますか。

橘委員 ボランティアグループのあおみの会朗読グループは解散されましたが資料中の名称に変更はないか。

事務局 朗読グループ「あおみ」に変更となりました。

事務局 愛知県で11月27日を「あいち県民の日」として制定し、11月21日から27日までの1週間を「あいちウィーク」とすることが決まった。11月24日に知立市内の学校が休校になる。通常、知立市図書館は11月の後半に特別館内整理期間があり休館日になる。11月24日は第4金曜日でもあるので休館日になるが、開館する。特別館内整理期間については11月14日から22日。あいちウィークの期間中にはブッカーかけ体験イベント等を予定している。

加藤委員 バルーンアートが楽しかったというアンケート結果を見た。バルーンアート教室は令和5年度中の後半に開催予定はあるか。科学実験教室についても、実験に触れる機会は少ないので図書館で開催するのは良いと思う。年に複数回できれば良いのではないか。

事務局 4月に開催したバルーンアート教室は抽選制にし、倍率が5倍であった。講師の都合を考慮し、来年度は回数を増やし開催できるよう検討する。科学実験教室についても講師と相談する。

近藤会長 人気のある行事は来年度も検討していただきたい。

橘委員 科学実験教室の講師である島田尚幸氏はあいち妖怪保存会共同代表であるが、妖怪のお話を子ども達にしてもらうことは可能か。

事務局 過去に妖怪についてのイベントを開催したことがある。今回の科学実験教室も、妖怪にちなんだ実験を行う予定。

加古委員 幼児やその保護者に対して、本の選び方の紹介やおすすめの本を選定するのはどうか。家で読み聞かせをする際、本の選書に悩む保護者が多いと思う。そのような講座があると助かるとし、図書館に来ようと思える。図書館職員のレクチャーが良い。

事務局 検討する。絵本講師のおすすめの本特集を今年度中に行う予定。参考にしていただけたらと思う。

- 近藤会長 そういった情報は広報ちりゅうで各家庭に知らせる予定ですか。
- 事務局 イベントについては広報ちりゅうに載せているが、本の特集については載せていない。図書館だよりに掲載している。
- 加古委員 作家による子どもに向けた本のワークショップが図書館まつりの期間にあると楽しいと思う。
- 事務局 今年の図書館まつり期間に作家によるワークショップを計画していたが、講師都合で時期を変更し、来年の2、3月あたり行う予定。講師はわたなべちなつ氏を予定している。
- 近藤会長 良い先生がいれば積極的に声をかけ、図書館の活性化につなげていただきたい。
- 近藤会長 令和5年度事業計画について、その他にご意見はありますか。ないようですので協議事項(2)については以上とします。

報告事項について

- 近藤会長 報告事項について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 電子図書館導入とその後の状況について資料に沿って説明。貸出数が減少傾向にある。夏休みに利用促進のため関連のイベントを開催予定。
- 近藤会長 ご質問はありますか。
- 加藤委員 簡単でもよいので電子書籍の使い方マニュアルを作成し配布してほしい。本の検索がうまくできず、見たい本にたどり着かない。
- 加古委員 電子書籍の使い方の動画を作成し、ホームページ等に掲載してほしい。
- 事務局 電子図書館を提供している業者に問合せをし、検討します。
- 近藤会長 まず図書館協議会の委員から電子図書館を利用し、図書館の活性化につなげたい。その他ご質問はありますか。ないようですので、続いて第3次知立市子ども読書活動推進計画中間年の調査について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 第3次知立市子ども読書活動推進計画中間年の調査について資料に沿って説明。
- 近藤会長 ご質問はありますか。ないようですので、昨年度協議会での指摘事項について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 無料塾の開催について、コロナ禍より学習に差が付きつつあるため、宿題をすることのできる場所の提供をしてはどうかという意見があったが、学習支援事業や福祉事業の一環であることもあり、図書館が主導で開催することは難しい。知立市が主導で行う場合は、図書館として協力していく。職場体験の生徒からの聞き取りについて、生徒の皆さんがどんな本に興味を持っているか聞き取りをしてはどうかという意見があり、実際に職場体験に来た生徒へ話を聞いた。ユーチューバー等の有名人が書いた本や映像化された本、恋愛に関する本に興味を持っていることがわかり、年4回行っているYAの特集に「あの人が書いた本」や「恋愛」と題し、本の特集を行った。今後も聞き取りを行う。子育て支援センターへの保護者向け書籍の提供については、支援センターの職員と相談し、親子でお出かけが出来るスポットの本等を設置。また定期的に支援センターへ読み聞かせに行き、その際にどのような本が良いか聞き取りをし、必要な本を持って行くこととしている。
- 近藤会長 ご質問はありますか。ないようですが、その他ご意見等ありますか。

- 加古委員 新型コロナウイルスが5類になり、読み聞かせをする側としての制限も撤廃されてきたので、幼児に対してもボランティア活動がしやすくなった。参加人数の制限も緩和されてきたので、誰でも参加できる環境を整えばよいと思う。図書館でボランティアグループがどんなことをしているかを発信し、ボランティアグループとして継続できればと思う。
- 豊田委員 元図書館職員として、ボランティアグループにはとても感謝している。図書館として、ボランティアグループへ意識的に感謝をしなければいけない。図書館への要望があれば伝えていただきたい。子ども達の所へ出かけていくことで読書推進になっていると感じている。
- 佐藤委員 先日の生活科の授業で、小学2年生が野菜や昆虫を取り扱っており、図書館から団体貸出しの本を皆でとりあうように目をキラキラさせ見ていたことが印象的で、読書の素晴らしさを感じた。一方で、コロナ禍の影響で図書室においても人数制限や開館制限があり、学年を限定して貸し出しを行ったり、タブレットが導入されたことで情報をタブレットで調べるようになったりする側面があった。授業数の確保で朝の読書の時間が削られ、学習の授業の時間に置き換わっている実態もある。本に触れあう機会や、本を借りる生徒が減っているように感じる。本が好きな生徒は変わらず好きだが、本に出会う機会が減っていると感じるので、コロナ禍が収まっていく中で学校としてもなにかできるとよいと考えている。
- 橘委員 新聞の記事で、幼児の知能の低下があるが親子の触れ合いが密になったことで5歳児は少し良くなったと書いてあった。親子で話をしたり、遊んだりする中で本は大切だと思った。図書館に来て本を選び、家庭で親子の時間を持つことが大事であると感じた。先日、民生委員児童委員の会議が知立南小学校の図書室で行われた。会議前の時間に図書室では生徒が没頭して本を読んでいた。スマートフォン等で本を読むこともできるが、紙の本を読み自分の世界をつくっていることがよいことであると改めて感じた。
- 加藤委員 123種類の雑誌の種類が長年変わっていないように感じる。旅行誌について、ことりっぶマガジン等の若いお母さん達が面白く読める雑誌がある。趣味・娯楽誌について、すてきにハンドメイドのような分野の雑誌があれば読みたいが、知立市図書館には読みたいものがない。若いお母さんが子どもを連れて図書館に来た際に読みたいと思える雑誌がなく、年配者向けのものが多く内容が偏っている気がする。他の図書館の所蔵を参考に、内容の刷新を図っていただきたい。
- 鈴木委員 コロナ禍になって図書室の利用が減ったのではという話があったが、学校図書館は、最近とても外が暑いので外に遊びに行けず、室内で過ごしましょうという日が続いていて、図書室はいつもごった返している。子ども達は本が好きで図書室で一生懸命本を読んでいる。本を読む機会があれば子ども達は本を読む。コロナ禍では保護者のボランティアの方々の活動ができていなかったが、今後学校図書館の部会でも活動ができるよう話ができればと思っている。学校では紙の書籍が良いのではないかということで書籍を揃えているが、一人一台タブレットを持っているので、知立市の図書館と繋がって何か見る事ができればよいかもしれない。
- 事務局 電子図書館はタブレットで閲覧できるので、貸出券を作れば利用できる。家でも学校でも見る事ができる。

近藤会長 皆さんの意見やお考えを聞き、今後このメンバーで頑張ってやっていくのだ、とより強く思いました。私が実践している中でコミットというものがあります。「コ」は子どものために、「ミ」はみんな、「ツ」はつなぐ、「ト」は、地域とともにある学校ということで、コミュニティスクールとって、知立市が頑張っている学校づくりである。地域総がかりで作っていく学校の中で、図書館はとても重要だと感じた。私達の考えが、話し合いによって少しでも良くなるようにしていきたい。その思いを事務局には吸い取っていただきたい。それではこれをもちまして、令和5年度第1回知立市図書館協議会を閉会します。事務局に進行をお返しします。

事務局 後日議事録を送付しますので確認をし、修正等ありましたら事務局までご連絡ください。第2回知立市図書館協議会は2月を予定している。次回開催日は決まり次第お知らせする。以上、ありがとうございました。

(午後3時00分閉会)

第1回知立市図書館協議会での指摘事項・今後の課題

- ・バルーンアート教室の開催回数を増やす
- ・保護者向け絵本選び講座の開催
- ・電子図書館の使い方動画・配布資料の作成
- ・雑誌の種類の刷新